

あばしり  
商工会議所

# ニユース

〒093-0013  
北海道網走市南3条西3丁目  
TEL 0152(43)3031  
FAX 0152(43)6615  
<http://www.cci.knc.ne.jp>

平成24年4月1日  
No. 197

## 網走商工会議所通常議員総会を開催 平成24年度事業計画と収支予算が決定！

3月27日(火)市内ホテルにおいて、当所平成24年度事業計画などを審議する通常議員総会を開催しました。当日は56名出席され、各議案を慎重に審議し全議案が原案どおり承認されました。  
本年度の補助事業および新規事業と収支予算についてご紹介します。



通常総会の様子

### ◆ 補助事業

#### ○ 観光対策に関する事項

#### ○ 網走旬ツーリズム創出事業の実施

網走の四季折々の旬の素材(食材、体験、景観、産業、催事など)に歴史や文化を加え地域資源を活用した観光メニューを策定した「網走旬ツーリズム」を確立させます。

### ◆ 新規事業

#### ○ 地域産業の振興に関する事項

#### ○ 一次産品(農水産品)活用振興策の推進

#### ① 付加価値の拡大・高付加価値化の推進

網走の優れた素材を活用し、高次加工に取り組むことにより製造業の活性化、雇用の増加が期待される。一次産品を活用している、もしくはは取り組もうとしている企業にスポットをあて、アドバイス・支援を継続的に行い、橋渡しを実現できるように取り組みます。

#### ② 地域素材の新たな提供策の推進

網走の風土性と密接な関係を持った「食」にスポットをあて、地域素材(農水産物等)の新たな提供策を検討する「食の研究会」を設立し、食のブランド化、商品開発、販路支援などに関して情報交換や研究を推進します。

#### フェイスブックの活用

会員企業にとって有用な新たなツールである、コミュニティ型ウェブサイト(フェイスブック)を活用し、会員企業との更なる交流を目指します。

#### 東京農業大学生物産業学部との連携

当所と東農大との連携を通じて相互の発展に寄与すると共に、地域経済の一層の活性化と自立発展に資するために、研究交流人材交流、人材育成、技術開発交流などの相互の協力が可能な分野において、具体的な協力を有機的に推進します。

## 《平成24年度 一般会計収支予算書》

### 収入の部

項目	本年度予算額	備考
会費	23,600,000	会費・特別会費
加入金	50,000	加入金
負担金	520,000	商工業者負担金
事業収入	27,670,000	事業収入
受託料	1,890,000	諸団体受託料
雑収入	810,000	利子他諸収入
繰越金	1,500,000	前年度繰越金
事業補助金	4,000,000	全国展開本体事業
合計	60,040,000	

### 支出の部

項目	本年度予算額	備考
事業費	20,520,000	事業経費・全国展開他
管理費	21,000,000	人件費・会館管理費
繰出金	16,060,000	相談所・特別会計等
法定台帳運用費	520,000	台帳作成・管理他
その他支出	500,000	上記以外の経費
予備費	1,440,000	
合計	60,040,000	

## 《平成24年度 相談所会計収支予算書》

収入の部			支出の部		
項目	本年度予算額	備考	項目	本年度予算額	備考
道補助金	25,570,000	道からの補助金	事業費	3,430,000	講演講習会・セミナー等
市補助金	6,600,000	市からの補助金	俸給	29,370,000	指導員等人件費
繰入金	10,580,000	一般会計繰入分	旅費	700,000	各種研修旅費等経費
雑収入	200,000	講習会受講料等	事務費	3,690,000	通信・印刷費等
			福利厚生費	4,300,000	職員社会保険料等
			退職給与積立金	1,440,000	職員退職積立金
			雑費	20,000	上記以外の諸経費
合計	42,950,000		合計	42,950,000	

### 参加者を募集

#### 新入社員研修会激励と研修会を開催します！

新たに社会人になられた方が、企業の中で真に成長するかどうかは、本人の心構えはもとより、企業の教育と受入態勢にもかかっております。

本研修は、新入社員に限らず、入社2～3年目の方、準社員、パートの方も対象とし、**組織の一員として果たすべき役割・立場を認識させる他、社会人としてのマナーや日常生活の基本作りを会得させる**ことを重点に開催します。

#### 【研修日程】

- 13日（金）（1日目）
  - ・ 激励会（主催者挨拶、交通安全講話）
  - ・ 自己表現、会社組織の意義と役割
  - ・ ビジネスおよび社会人のマナーの重要性
  - ・ 言葉遣いと電話応対について
  - ・ 1日目のまとめ
- 14日（土）（2日目）
  - ・ 社会人としての振る舞いについて
  - ・ 先輩からのメッセージ
  - ・ 総合能力トレーニングなど
  - ・ 2日目のまとめ

#### 【日時】

- 平成24年4月13日（金） 14日（土）
- ・ 13日 午前9時20分～午後5時30分
- ・ 14日 午前9時～午後5時30分

#### 【会場】

- ・ 網走産業会館 3階 大会議室  
（網走市南3条西3丁目）

#### 【定員】

40名

#### 【申込先】

- ・ 網走商工会議所（電話43・3031）

#### 【受講料】

- ・ 2千円（2日分の昼食代、テキスト含む）

※注（非会員は1人4千円）

#### 【対象者】

- ・ 平成24年度入社、または若手社員及び準社員、パート

#### 【講師】

- ・ 瀬尾 哲巳 氏  
網走市出身。人材を育てる研修会の講師として約20年の経験を持つ。若手社員研修のほか、中堅社員や管理職向けの研修講師も行なう。

### ビジネス交流会を開催

情報交換・人脈づくり・ビジネスチャンスの場として開催

3月28日（水）網走セントラルホテルにおいて、企業相互の情報交換や人的交流、取引拡大等、新たなビジネスに繋がるきっかけづくりの“場”として開催。

第一部の基調講演では、㈱クリーンスター代表小島さんより「女子力で目指す新たな店舗展開」について、また合同会社大地のりんご事業主 道山マミ氏より「地場産品を活用したものづくり」についてそれぞれ講演いただきました。

第二部では、名刺交換会が行なわれ、終始和やかに交流を深めました。



基調講演の様子



名刺交換の様子

## 平成23年度 あばしり旬ツーリズム創出プロジェクトの実施報告

当所では、人口の減少や企業の減少など経済環境が厳しい中、あらゆる産業に波及する観光を網走流に創造し、網走経済の活性化の一助とするために、国の補助事業である「平成23年度地域力活用新事業全国展開プロジェクト調査研究事業」を活用して事業を推進してまいりました。

同事業は、交流人口の拡大を図ることで地域経済の活性化を目的として新しい観光「網走“旬”ツーリズム」を確立させるための調査研究として、網走旬ツーリズム調査委員会（委員長 鈴木観光委員長）を設立し、専門家による特別講演会の実施や網走市に訪れた観光客や網走以外に居住する方に対するアンケート調査、先進地事例の調査を実施し、それら調査結果を基に網走旬観光メニューの素案を作成しました。

同委員会の中に、観光ガイド、飲食、宿泊業者などの事業者を構成メンバーとした企画部会を設置し、その中で観光コースメニューの素案などについて議論を重ねてきました。

メニューづくりには、現時点で網走にある豊富な観光資源（自然景観、観光施設、博物館、ネイチャーガイド、アウトドア・アクティビティーなど）を十分に活かし、それらをお客様のニーズにあわせて組みあ

わせることで、網走の“旬”ツーリズムを提案し、同時に地元の人にしか知られていない旬を発掘し、新たなメニューづくりも積極的に検討しました。

平成24年度は、引き続き国の補助金に申請し、前年度の調査結果を踏まえて、網走旬ツーリズムのコンセプトである“旬”からは、個人型観光商品に求められる「いまさらでは・ここならではの、（私たちならではの）」という大事な要素と、網走らしい旬の素材を「ゆっくり・のんびり」味わっていただし、また行きたくなくなるような「ワクワク感」を醸し出せる網走体感メニューとして強調創造して、滞在型・リピート型網走観光の確立に向けた取り組みを行います。

また、観光客を受け入れるための運営組織として、これまでは横のつながりの比較的少なかった宿泊業、ガイド業、各種観光施設、飲食業など観光に係わるすべての業種間の連携を深める場を設け、魅力ある着地型の旅行商品の開発、網走の旬の情報を共有、発信するためのプラットフォームづくりやホームページの設置、またモニターツアーなどの事業を展開していきます。



## 出店のお知らせ！

網走スイーツボンジ屋  
事業主 高崎 裕康 氏

アプト4商店街（サンモードさん跡地）にお菓子屋さんがオープンします。

事業主は、現在まで名古屋で営業されておりましたが、世界自然遺産の知床が好きで毎年訪れていることや管内の知床から原材料のイチゴを送ってもらっていることもあり、移住して新たなチャレンジをすることになったとおっしゃっております。

また、農産物の豊富さや雄大な自然の魅力に惹かれ、交通網の利便性などを検討した結果、網走が理想的であったということです。

事業主にお勧めのスイーツについてお訪ねしたところ、道内の材料を厳選して焼いたスポンジケーキが勧めだそうです。

現在は5月上旬のオープンに向けて準備を進めているそうで、「オープンの際には自慢の焼きたてスポンジを召し上がっていただきたいので、是非、当店にお寄り下さい。」とお店のPRも忘れずにお話いただきました。

## 新入会員を募集しております！

地域商工業者の力が商工会議所の力に、そして地域経済の力になります

当所では組織基盤を強化し、地域経済の活性化を図るため会員の拡大に取り組んでおります。

商工会議所では、会員企業に対し、金融・税務・福利厚生・商取引・人材育成など経営支援のための各種サービスを行なっており、企業経営にお役立ていただけます。

会員企業の皆様におかれまして、お知り合い、関係先の事業所を是非、ご推薦・ご紹介賜りますようお願い申し上げます。

## YEGだより

YEGでは3月例会（語ろう！知ろう！YEGトークショー！）を開催。

各メンバーに、これまでのYEG活動に対する思いや経験・個性を引き出す機会を設け、今後の活動に繋げるための話し合いが行なわれ盛会の内に終了しました。

## 女性会だより

女性会では3月例会（ジェラートづくり）を開催。

リスの森さま、ご協力のもと網走産の牛乳などを使いジェラートづくりを行なってきました。

## 会員さんのご紹介

### ㈱クリーンスター 代表取締役社長 小島隆義さん

今回紹介する会員さんは、道内において、現在2社3工場33店舗、役員スタッフ百八十名を有し、リーダー二十五名は全員女性というダイナミックな組織作りと人事でチーム展開し、急成長を遂げる「㈱クリーンスター」さんを紹介します。

創業は昭和40年、本年度で46年目となるそうです。小島代表に短期間でここまで成長した理由についてお聞きしたところ、それは社員の教育と活力のためには時間やお金を惜しまずに出来るだけ費やし、自らの「使命」と考える魅力回復業を通じて顧客満足、社員の幸せと社会への貢献、業界の発展、取引先と共栄を重点に行なってきたそうです。

なぜ、従業員が全員と言っているほど女性であるのかお聞きしたところ、どちらかというと女性の方が男性よりも細かな点に気が付き、お客様と接する際に「愛を育む力」が強いことから、当社では幹部スタッフ全員が女性であるそうです。

また、小島社長が普段から心掛けていることについてお聞きしたところ、「写真」で言い表せば、思い出深い写真を復元する作業同様に、お客様の思い出などの魅力を回復させることに力を注いでいるとのことでした。



楽しく働くスタッフ

しかし、技術や商品力だけでなく、その良さがお客様に伝わらなければ全く意味のないものになってしまうため、多くの人に知ってもらおう努力とノウハウが最も重要とおっしゃっていただきました。

今後の目標は、「日本一、リピーターが行きたいと思うお店になることで、スタッフもお客様も一つの家族として幸せにすることが我々の使命であり、目標です」と力強く語っていただきました。



女性スタッフと小島代表（2列目中央）

## 新企画

### 風の人（転勤族）からみた網走 北海道オホーツク総合振興局長 有利利典さん

本年度より新企画として「風の人」から見た網走はどのように見えるのか、地元に住み続けている人とは違う目線でお話をいただき、今後の参考とし、より良い「あばしり」を目指します。

「風」となると10ヶ月が経ち、網走の農水産業の生産力は高く上質であること、地域資源が豊富であることに感激しております。若い人達の食品開発へのチャレンジ精神も旺盛であり、東京農業大学による「人づく」の大きな成果であると思います。

一方、世の動きを見ますと、たとえば、「輸入米が表舞台登場、ネットやスーパーで好調。外食産業も使い始めた（3月21日朝日新聞）」とか。また、小さな動きでししようが、こうした社会経済情勢、消費動向の中で、オホーツクらしい産業、文化をつくり、地域の活力を高めるためには、じっとしてられない。これが「風」の心境です。

では、どうするのか？

スポーツで例えますと、弱いところの補強よりも、強みを生かし、観客を魅了する技術・体力を高める作戦です。オール網走でチーム力アップの戦略を練るのです。

魅了するためには、消費者との信頼・つながりを大切にして、独りよがりにならない



「良いモノづくり」が不可欠です。技術・体力を高めるためには、最初から最後まで網走で作るための「仕事づくり」を地元各界の総力で取組む、この「貫き」こそが、オホーツクのブランド力となり、付加価値拡大を成し遂げるのではないでしょう。地元が仕事を生み、分担し、更に、異分野と連携して技術を磨き、チャレンジする。若者が働き、屯し、訪れる人達と語り、賑わいを生む、そんな街の姿を描いています。

風は、時として、大地をも天空に巻き上げる可能性があります。土と一緒に飛び回りますので、これからも仲間として、会議所皆様方との交流をお願いいたします。